

デンマークにおける日本マンガ市場

2007年10月2日
在デンマーク日本大使館

はじめに

——デンマークでも日本マンガが大人気に。

日本のアニメ／マンガが世界各国でブームになっており、デンマークでもここ2～3年の間に日本のアニメ／マンガが急速に浸透している。当館が主催したマンガ講習会や、開催協力したコスプレ大会／アニメソング・コンサートには数多くの若者が詰め掛けた。

ただし、こうした人気を裏付ける分析資料や統計データは存在しない。「デンマークにおいて、ドラゴンボールの累計販売部数が150万部を超えた」との断片的な話は聞くが、出版社は詳細の販売部数・売上高に関するデータを公開しておらず、また、出版統計や書籍データベースでは「マンガ」の位置付けが不明確であり、作品によって「児童書／絵本」や「コミック」に分類されていたりする。

そこで、当館では現時点で入手可能な情報を元に、デンマークにおける日本マンガの浸透度を示す資料を作成した。今後も、出版社等へのヒアリングを通じて新しいデータが入手できれば、随時分析・紹介していく予定である。

1. 日本マンガに関連する出版社

——主要3社で市場を形成。07年に業界地図に大きな変動が。

デンマークにおいて、日本マンガのデンマーク語版を翻訳・出版している出版社は、現在のところ次の3社である。

(1) カールセン社 (**Forlaget Carlsen A/S**)

——マンガ市場拡大に主導的役割。市場の将来にとってその動向は決定的に重要だが、親会社の経営権変更で将来は不透明？

(a) 沿革

- 1899年に創業した老舗出版社であり、主として児童書、絵本、コミック／マンガを出版している。
- 1980年、デンマーク国内で出版業界第3位のボニアー社 (**Bonnier Forlagene A/S**) の子会社となり、複合メディアグループ「ボニアー・グループ」(本拠：スウェーデン) の傘下に入る。
- 2007年、複合メディアグループ「エグモント・グループ」(本拠：デンマーク) の傘下企業で、デンマーク出版業界第2位のアスケホー社 (**Aschehoug A/S**) がボニアー社を買収することが発表され、子会社であるカールセン社もエグモント・グループの傘下に入る予定である。

(b) 市場戦略と将来動向

- 同社が刊行した日本マンガの刊行点数やタイトルを見ると、同社がデンマークの日本マンガ市場の拡大に主導的役割を果たしてきたことがわかる。マンガ市場の将来を占う上でも、同社の動向は決定的に重要である。
- 一部には、エグモント・グループ傘下に入ることによって、マンガに対する同社の戦略が後退するのではないかとの懸念の声がある。万一、同社の戦略が後退した場合、デンマークのマンガ人気そのものに水を差すおそれがある。

(2) エグモント社 (**Egmont Serieforlaget A/S**)

——マンガは利益の出る人気作品が主。経営陣のマンガ自体に対する熱意の少なさに懸念の声も。

(a) 沿革

- 1982年に設立されたエグモント・グループの傘下企業で、デンマークにおいて児童書、絵本、コミック／マンガを出版している。なお、

エグмонт・グループ本体の歴史は、1878年まで遡る。

(b) 市場戦略と将来動向

- エグмонт・グループによるカールセン社の買収により、同グループ内でマンガを手がけることになる2社の関係や、今後の市場戦略の行方が注目されている。
- ドイツにおける日本マンガ市場では、エグмонт・グループ傘下企業が大きなシェアを占めているが、デンマークでは3シリーズの刊行にとどまっている。その理由として、経営陣のマンガに対する熱意の少なさが伝えられており、今後も大きな利益が見込める少数のタイトルの刊行に限定するのではないかと思われる。

(3) マングスモ社 (Mangismo A/S)

——マニアックな作品が主。刊行点数が急拡大するも、資金繰りが悪化。経営再建に向けて協議中。

(a) 沿革

- 2004年に、カールセン社の元編集者が創業したマンガ専門の出版社である。日本や韓国のマンガの翻訳・出版を手がける。

(b) 市場戦略・今後の動向

- 同社の刊行する作品は、広く一般に人気のシリーズというよりも、かなりマニアックな作品が多く、愛好家には受け入れられているが、一般国民への影響は限られている。
- 2006年にはマンガ年間刊行点数がカールセン社に迫る勢いになったが、2007年に資金繰りが悪化。現在、今後の経営再建の可能性を協議中。

2. デンマークにおける日本マンガの浸透

——出版点数データでこれまでのマンガ市場の拡大を裏付け

現時点では、売上高や売上部数から日本マンガ市場の規模を推測するデータの入手が困難なことから、ここでは各社が翻訳・出版した日本マンガの全タイトル、刊行年、刊行点数を調査し（別添一覧表参照）、刊行点数のデータからこれまでの市場拡大の様子を裏付けた。

（1）日本語からの翻訳書が急増：19点（01年）→122点（06年）

2006年のデンマークの書籍市場において、13,402点の新刊書が出版され、うち外国語からの翻訳書は2,769点であった（デンマーク図書センター調べ）。うち、日本語からの翻訳書は122点であり、翻訳書全体の4.4%に過ぎないが、翻訳書全体が微減傾向にある中で、日本語からの翻訳書の急増ぶりはきわめて顕著である（表1参照）。

表1：外国語からの翻訳書籍刊行点数（2001年と2006年の比較）

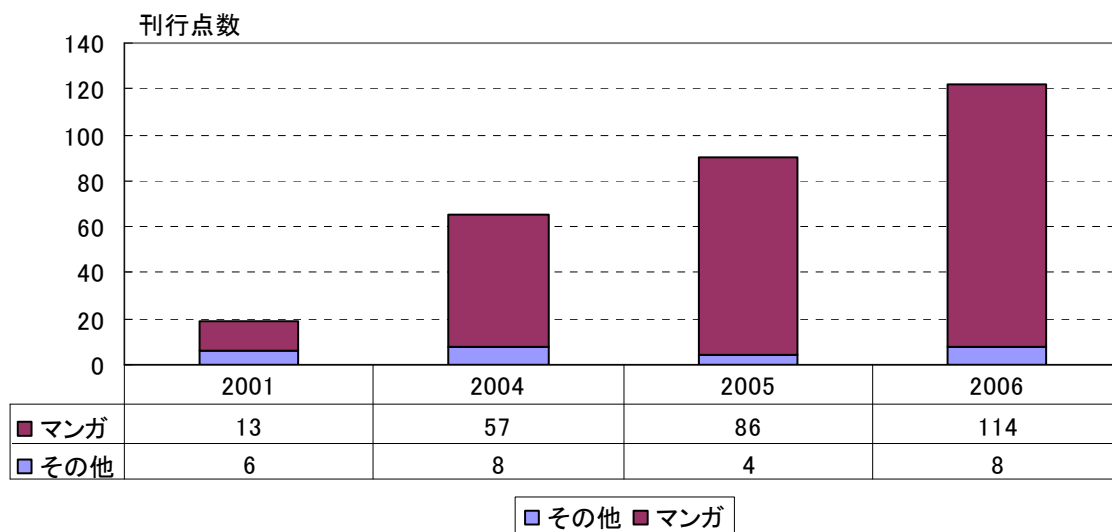
原著発行国	2001年	2006年
英国／米国	1,851	1,762
スウェーデン	324	265
ノルウェー	108	156
フランス	186	140
ドイツ	154	124
日本	19	122
韓国	1	5
中国	1	4
（参考）翻訳書籍全体	2,834	2,769

出所：The Danish Bibliographic Centre の統計、書誌情報を元に作成。

(2) その背景に「マンガ・ブーム」：9割以上がマンガ作品

日本語からの翻訳書のタイトルを見ると、大半がマンガ作品であり、マンガの急増が日本語からの翻訳書の急激な伸びの原因になっていることがわかる(図1参照)。なお、マンガ以外の書籍の翻訳は毎年10冊未満程度であり、村上春樹など人気作家の小説や古典などが翻訳されている。

図1：日本語からの翻訳書のタイトル内訳

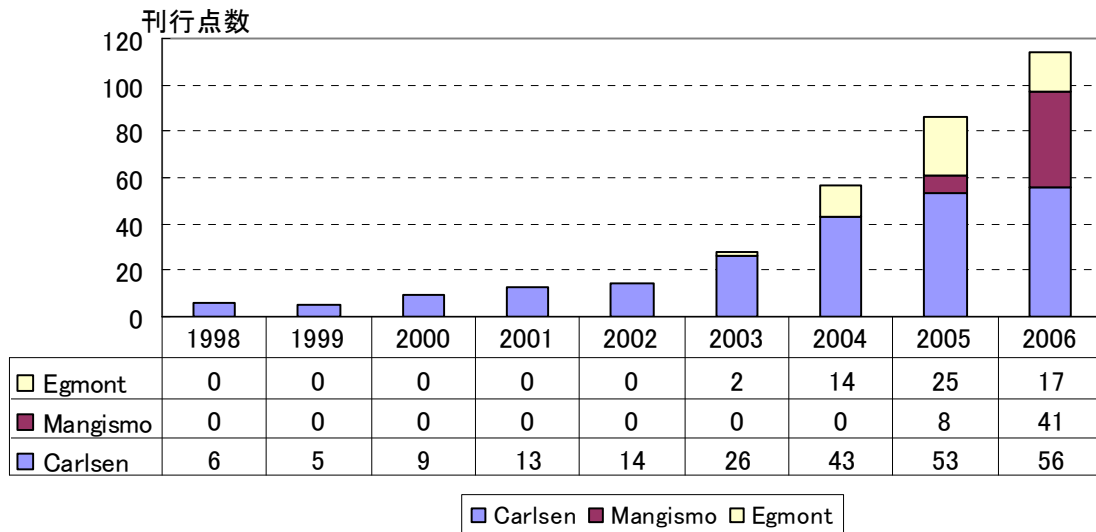


出所：The Danish Bibliographic Centre の統計及び書誌情報、各社のウェブサイトなどから集計。

(3) 2004年以降、本格的なマンガ・ブームが到来

図2は、出版社別の日本マンガの刊行点数を示したものである。特に2004年以降、複数社の算入も相まって刊行点数が急激に伸びている。カールセン社幹部からのヒアリングによれば、「1998年に AKIRA の刊行を開始したが、当初はそれ以上の大きな動きにはならなかった。ドラゴンボールZシリーズの刊行を開始した2003年以降にマンガ・ブームに火が付き、ドラゴンボール・シリーズが累計で150万部を超えるベストセラーとなった。現在、年間10シリーズ以上を刊行している」とのことであり、図2のグラフからもその市場の変化の様子がよくわかる。

図2：日本マンガの刊行点数



出所：The Danish Bibliographic Centre の統計及び書誌情報、各社のウェブサイトなどから集計。

おわりに

——コミック市場において一定の地位を築く日本マンガ、ただし将来は不透明。

コミック市場全体に占める日本マンガのシェアや、金額ベースでの市場規模については今後の調査課題であるが、カールセン社幹部の話によれば、同社の売上高の約15%が日本マンガ、約10%がコミック（日本以外）であり、その他が児童書や絵本ということであった。この数字からも、コミック市場において日本マンガは一定の地位を築いているものと思われる。

ただし、2007年に生じた関連出版社の企業買収や経営危機の動きが今後どう進展するかは不透明であり、その動向次第では現在のマンガ・ブームに水が差される懸念もある。日本・デンマーク経済・文化関係の強化という観点からも、その動向を注視していく必要がある。

以上

デンマークで出版された日本マンガ

刊行開始年月	出版社(デンマーク)	タイトル(デンマーク)	タイトル(日本語原著)	原作者	出版社(原作)	巻数	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07
1998-06	Carlsen	Dragon Ball	ドラゴンボール	鳥山明	集英社	42		4		6	11	12	9			
1999-04	Carlsen	AKIRA	AKIRA	大友克洋	講談社	20		2	5	3	2	2	3	3		
2003-04	Carlsen	ONE PIECE	ONE PIECE	尾田栄一郎	集英社	36							9	12	6	9
2003-09	Carlsen	Dragon Ball Z	ドラゴンボールZ	鳥山明	集英社	15							2	6	6	1
2003-10	Carlsen	Kajika	カジカ	鳥山明	集英社	1						1				
2003-11	Carlsen	DN Angel	D・N・ANGEL	杉崎ゆきる	角川書店	11						2	6	2		1
2004-05	Carlsen	Love Hina	ラブひな	赤松健	講談社	14							4	6	4	
2004-08	Carlsen	Yu-Gi-Oh!	遊☆戯☆王	高橋和希	集英社	37							6	12	12	7
2004-10	Carlsen	Sand Land	サンドランド	鳥山明	集英社	1							1			
2004-10	Carlsen	Tokyo Mew Mew	東京ミュウミュウ	征海未亜／吉田玲子	講談社	7							2	5		
2004-10	Carlsen	Neon Genesis Evangelion	新世紀エヴァンゲリオン	貞本義行／GAINAX	角川書店	10							3	6		1
2005-02	Carlsen	Astro Boy	鉄腕アトム	手塚治虫	小学館	3								3		
2005-10	Carlsen	Sharman King	シャーマンキング	武井宏之	集英社	14								3	7	5
2005-11	Carlsen	Tokyo Mew Mew a la mode	東京ミュウミュウあ・ら・もーど	征海未亜／吉田玲子	講談社	2								2		
2006-03	Carlsen	.hack	.hack	浜崎達也／依澄れい	角川書店	4										4
2006-05	Carlsen	Manga Love Story	ふたりエッチ	克・亜樹	白泉社	10								2	7	1
2006-06	Carlsen	Naruto	Naruto	岸本斉史	集英社	16									8	9
2006-07	Carlsen	Det Levende Slot	ハウルの動く城	宮崎俊	徳間書店	4										4
2007-03	Carlsen	Magic Knight Rayearth	魔法騎士レイアース	CLAMP	講談社	4										4

Carlsen

6 5 9 13 14 26 43 53 56 28

2005-11	Mangismo	Gravitation	グラビテーション	村上真紀	幻冬舎	11								1	6	4
2005-09	Mangismo	Samurai Deeper Kyo	Samurai Deeper Kyo	上条明峰	講談社	22								4	12	6
2005-10	Mangismo	Vampire Game	吸血遊戯(ヴァンパイア・ゲーム)	JUDAL	新書館	11								2	6	3
2005-11	Mangismo	The Devil Ororon	悪魔のオロロン	水月博士	新書館	4								1	3	
2006-02	Mangismo	Princess Ai	プリンセス・アイ物語	鯨堂みさ帆	新書館	3									3	
2006-04	Mangismo	KARE First Love	「彼」First Love	宮坂香帆	小学館	8									5	3
2006-08	Mangismo	Hellsing	Hellsing	平野耕太	少年画報社	6									3	3
2006-09	Mangismo	Basara	Basara	田村由美	小学館	5									2	3
2006-11	Mangismo	Chrono Crusade	クロノクルセイド	森山大輔	角川書店	5									1	4

Mangismo

0 0 0 0 0 0 0 0 8 41 26

2004-09	Egmont	Mesterdetektiven Conan	名探偵コナン	青山剛昌	小学館	24							4	12	5	3
2005-07	Egmont	Ranma 1/2	らんま1/2	高橋留美子	小学館	38						2	10	13	12	1
2007-09	Egmont	Inu Yasha	犬夜叉	高橋留美子	小学館	1										1

Egmont

0 0 0 0 0 2 14 25 17 5

合計

6 5 9 13 14 28 57 86 114 59

2007年10月2日現在